

坪井周辺

市内北東部に位置する坪井周辺の「源七山遺跡」「中井台遺跡」などでは、数々の遺構・遺物が発見されています。このほか、昔の村境やその近くの道に建てられたという庚申塔などの石造文化財、寺社などもあり、文化財散策におすすめの地域です。



この馬頭観音供養塔は大正3年(1914)に造立された



野馬が田畑を荒らしたり、村に侵入するのを防ぐために築かれた、二重土手の野馬除土手がこの地にあった



「坪井」の由来

坪井という地名の由来には諸説ありますが、①「坪」は小さい・狭いを意味し、狭い谷間にできた集落(=居=ゐ)の意とする、という説が一般的なようです。他にも②「井」が井戸・泉・湿地帯などを意味することから、壺穴上の井戸(泉)があったから付いた地名、③古代糸里集落の地目の単位「坪」のなかの小集落が語源になった、などの説がありますが、正確なところはわかっていません。

お散歩行程表(所要:半日程度) 総距離 5.4km

船橋日大前駅	→	庚申塚	→	太山堂	→	道祖神	→	馬頭観音	→	子安神社	→	西光寺	→	八王子神社	→	安養寺	→	船橋日大前駅
		23分		1分		1分		3分		7分		13分		11分		19分		27分



坪井の鎮守。創立年代などはわかっていない。境内には子安塔などの石造文化財が並ぶ



寺背後の墓地からは中世の板碑が多数出土し、境内には江戸初期の墓石が散在するため近世以前の建立と思われる



古和釜町の古和釜のマアチ(P19)、オビシヤ(P35)などが行われる八王子神社。鎮守の森は郷土環境保全地域に指定されている



寺の入り口には享保16年(1731)の題目塔や安永10年(1781)の日蓮上人供養塔などの石造文化財が並ぶ